

## 環境審議会・建設環境委員会・パブリックコメントからの主な意見に対する対応

パブリックコメントの概要
募 集 期 間：令和5年12月1日(金)～12月21日(木)
意見提出者：50人(市民10人、市外40人)から 延べ122件

※下記の表において、(環境審議会委員)、(建設環境委員会委員)と記載しているものは、一委員からの意見であり、それぞれの会として取りまとめた意見ではありません。

### 【区域施策編】

1	<p>(パブコメ) 未来世代が、今の地球環境で生活できる権利があると思います。そのために、今の世代ができることを最大限していくという観点を盛り込んでほしい。</p> <p>「はじめに(市長あいさつ文)」のなかで、「将来の世代が豊かで暮らしやすい環境を引き継げるよう、2050年のゼロカーボンシティ実現に向けて取り組んでいく」と記載しました。</p>
2	<p>(パブコメ) 「事務事業」は市民には馴染みのない言葉なので、「市役所編」などのほうが分かりやすいのではないかと。</p> <p>各章のタイトルについて、「区域施策編」は「国立市全体における温室効果ガス削減計画」、「事務事業編」は「市役所における温室効果ガス削減計画」、「気候変動適応計画」は「気候変動の影響に適応するための計画」に表記を修正しました。(P12、P52、P62)</p>
3	<p>(パブコメ) 最新の世界の取り組みを計画に記載してほしい、具体的には、COP26のグラスゴー合意における「1.5度目標の追求」、昨年ドバイで開催されたCOP28における「化石燃料からの脱却の加速」を追記してほしい。</p> <p>P5にCOP26で1.5度に抑える努力を追求する旨の合意がなされたことと、COP28で化石燃料からの脱却の加速について合意されたことを追記しました。</p>
4	<p>(環境審議会委員) P23で使われている「ポテンシャル」という言葉は、日本語で表現できないか。また、どのような条件のもとでのポテンシャルなのかが分かるようにした方がよい。</p> <p>「削減可能量」、「導入可能量」あるいは「可能性」という言葉を用いるとともに、再エネの導入可能量については、「設置可能面積や、法令の制約等による設置の可否を考慮して算出されたものであり、採算性が良くないものも含まれている」という条件を追記しました。</p>
5	<p>(パブコメ) 削減目標の算出方法を記載してほしい。</p> <p>P30に「国の温対計画に位置付けられた省エネの内訳」を追加しました。</p>
6	<p>(建設環境委員会委員) 家庭や事業所での再エネ電力への切替促進に係る補助制度について、原発と再エネを同等に扱うべきだ。原発100%プランが出てきたときに補助金が出せるように記載を変えたらどうか。</p> <p>「再生可能エネルギー」と表記していた箇所の該当する表記について、「脱炭素エネルギー」に修正しました。ただ、これら用語の使用にあたっては、国の原子力政策への対応について、様々な捉え方が分かることが分かりました。国立市の地球温暖化対策は、そういった考え方の相違があることを認識しつつも、地球温暖化対策としてやるべき市の施策は明らかになっており、省エネルギーや再生可能エネルギーの促進など、その実行という点では一致して取り組みを進めることができると考えています。</p>
7	<p>(環境審議会委員)(パブコメ) 市の追加的施策として「断熱等級5」の推進を掲げているが、「断熱等級6」を誘導してほしい。</p> <p>断熱等級の項目については、市民アンケート結果における意向を踏まえて設定したものととなります。いただいたご意見は、市域内における建築物断熱化の推進にあたり参考とさせていただきます。(P36)</p>

8	<p>(環境審議会委員) (パブコメ) 市民・事業者の協力を得るため、市が呼びかけて市民運動を起こしてほしい。</p> <p>脱炭素につながる行動変容やライフスタイル変革を後押しする新しい国民運動「デコ活」についての周知・普及や、ナッジの手法を活用した行動変容に向けたチラシの作成などに取り組んでまいります。(P39 ほか)</p>
9	<p>(パブコメ) 太陽熱の利用は、太陽光発電よりも安価でエネルギー利用効率は良いことから、太陽熱利用についても記述を増やしてほしい。</p> <p>P45の「住宅等での太陽光発電導入」のコラムのなかで、太陽熱利用設備を導入した場合の集熱量について記述を追加しました。</p>
10	<p>(環境審議会委員) 太陽光パネルの設置促進について記載があるが、これに関連して、補助金などがあれば、設置を後押しすることができると思う。</p> <p>P46に令和5年度の市の補助制度を掲載したほか、P45の「住宅等での太陽光発電導入」のコラムのなかで、初期費用が何年程度で回収できるかなどの経済的メリットについての解説を追加しました。</p>
12	<p>(パブコメ) 次世代エネルギーとして、ガスエネルギーのメタネーション技術についても触れてほしい。</p> <p>P47の「多様な脱炭素エネルギーに関するコラム」に、メタネーションとカーボンニュートラルメタンの技術についての記載を追加しました。</p>
13	<p>(環境審議会委員) (パブコメ) 地球温暖化対策と生物多様性は一体のもので、緑の質についても触れてほしい。</p> <p>「気候変動の影響に適応するための計画」のなかで、自然環境が有する多様な機能の再認識、グリーンインフラ機能などの積極的活用を進め、自然の保全・回復に取り組んでいくこととしているほか、脱炭素まちづくりの取り組みのなかでも「貴重な動植物が息息・生育できる環境の維持及び、より質の高い自然環境の形成の推進」について追記しました。(P49)</p>
14	<p>(環境審議会委員) (パブコメ) 市民や事業者からの相談に対応する体制を構築してほしい。</p> <p>P50の主要施策①に「市民や事業者からの相談に対応する体制の構築」を追加しました。</p>
15	<p>(環境審議会委員) 各対策の目標が表になっていると、進捗状況を把握しやすかったり、市民からも目標に向かっていくことが見えやすくなったりすると思う。</p> <p>基本施策ごとに削減目標と進捗管理指標を整理して表として掲載したほか、P51に各施策の進捗管理指標を一覧表の形で整理・再掲しました。</p>
16	<p>(パブコメ) 計画を読む人にとって分からない単語が多くあると、気候変動対策が遠く感じるので、難しい用語については、註釈を入れていただきたい。</p> <p>P70～の資料編に用語集を作成し、詳しい説明を記載しました。</p>
17	<p>(建設環境委員会委員) 市民アンケートなどの記載において、どういった質問をして、どういった回答だったのか、また、アンケートの母数についても正確に記述してほしい。</p> <p>P74に各種アンケートの概要(母数含めた調査対象、手法、回答率など)を追記しました。また、各設問において質問文を追記しました。</p>
18	<p>(パブコメ) 省エネに貢献している市内事業者を総合評価入札で加点する制度を創設してほしい。</p> <p>現状は「国立市総合評価方式実施ガイドライン」における「環境配慮」という評価項目で、「ISO14001」又は「エコアクション 21」の認証を取得している場合に加点するという制度となっています。省エネに貢献している市内事業者を認定・評価する制度については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
19	<p>(パブコメ) ハウスメーカーへの動機付けになるように、ガイドライン等を作成してほしい。</p> <p>ご意見いただきました通り、ハウスメーカーに情報を伝えることができれば、取組が進むことが想定されるため、ハウスメーカー等への働きかけについては、今後の検討課題とさせていただきます。</p>

20	<p>(建設環境員会委員) 交通不便地域の解消に向けたレベル4による自動運転、また、水素自動車 (FCV: 燃料電池自動車) やバイオエタノール燃料の普及、また、発電効果を持つガラス型の太陽光パネルや舗装型の太陽光パネルなど、先進技術の取り込みなどにも取り組んでほしい。</p> <p>先進自治体を参考にさせていただきながら、先進技術の導入推進に向け情報収集に取り組んでまいります。</p>
21	<p>(パブコメ) 地球温暖化対策実行計画の温室効果ガス削減の進捗や、評価指標の進捗の検証はどのようにするのか。</p> <p>オール東京 62 市区町村共同事業の「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」で実施している多摩地域の温室効果ガス排出量調査のデータを活用するほか、施策ごとの「進捗管理指標」については、各種統計データの活用や市民アンケートの実施などにより、定期的にモニタリングしていくことを想定しています。</p>
22	<p>(建設環境員会委員) (パブコメ) 年度ごとの目標値を設定し、それを実現するための取組、予算に関する記載を入れてほしい。</p> <p>進捗管理指標について、年度ごとの目標値は定めておりませんが、2030 年度に向けての進捗状況の確認は、来年度以降、適宜行っていきます。計画の進捗を管理するなかで、課題を洗い出し、必要な取組に優先順位を付けて予算化してまいります。</p>
23	<p>(建設環境員会委員) (パブコメ) 継続的に市民会議を実施してほしい。</p> <p>本年度実施した市民ワークショップのような会議体を継続的に設置することは想定しておりませんが、環境や地球温暖化対策に対して理解を深めていただく勉強会や講演会を実施し、その中で意見交換などしていきたいと考えています。</p>

#### 【事務事業編】

1	<p>(環境審議会委員) 公共施設マネジメントでは、財政的な制約が問題となっている。全体的に「予算の制約」や「費用対効果」という視点を入れてほしい。</p> <p>P57 の記述を「今後予定する新築事業については予算の制約や費用対効果を考慮したうえで、ZEB Ready 相当以上とします。」に修正しました。また、他の記述についても同様の趣旨で修正を行いました。</p>
2	<p>(環境審議会委員) (パブコメ) 太陽光発電設備は可能な限り最大限設置してほしい。</p> <p>日射条件や他の用途との調整、施設の電力需要量や費用対効果等を考慮しつつ、太陽光発電設備を可能な限り最大限設置するという趣旨で本文を修正しました。(P56)</p>
3	<p>(パブコメ) 調達電力を全て再生可能エネルギー100%の電力にしてほしい。</p> <p>公共施設で使用する電力については、100%再生可能エネルギーへの切り替えを順次進めております。政府実行計画に倣い、60%を目標としておりますが、他の施策の進捗や費用対効果等についても勘案する中で、更なる導入についても検討してまいります。(P56)</p>
4	<p>(パブコメ) 今後予定する新築事業については、本当の「ZEB」や「断熱等級6以上」を目指してほしい。</p> <p>新築事業における「ZEB Ready 相当」は最低限のものと考えており、施設の用途や費用対効果等を踏まえて、「ZEB Ready 相当」以上を目指すことも視野に入れて検討を進めます。(P57)</p>
5	<p>(環境審議会委員) (パブコメ) 設備更新の際には「省エネトップクラス」のものを導入してほしい。</p> <p>既存設備の更新の際には、環境性能に加え、それぞれの現場ごとに求められる性能を満たす機器であることや費用対効果の高い機器であることも求められます。そこで、既存設備の更新の際には、費用対効果等を考慮しつつ、可能な限り省エネ性能の高い設備の導入を進める旨に記述を修正しました。(P57)</p>
6	<p>(環境審議会委員) (パブコメ) 新規導入・更新する庁用車は「原則電気自動車」にしてほしい。</p> <p>新規導入・更新する庁用車については、電気自動車を中心となると考えておりますが、車の用途により選択の幅を持たせておくため、計画においては原則電動車としております。(P60)</p>

## 【適応計画】

1	(バブコメ) 既存事業の寄せ集めではなく、市民・事業者を巻き込み、専門家の力も借りつつ国立市への影響をシミュレーションして作り直してほしい。
	気候変動適応策は、ご意見のとおり緩和策と併せて両輪で考えていくべき施策との考えから本計画ではその二つをまとめて策定しており、基礎自治体として取り組むべき課題を取りまとめたものです。今後、環境や地球温暖化対策に対して理解を深めていただく勉強会や講演会を実施するなかで、市民・事業者から適応計画に対する具体的なご意見などあれば、参考にしていきたいと考えております。